

菊池行道氏採集

# 滿洲國產同翅目に就て

加藤正世

Notes on Some Manchurian Homoptera, collected by Mr. K. KIKUCHI. By MASAYO KATO

私は菊池行道氏の好意に依り、滿洲國產昆蟲の寄贈を受けて主として分布學的研究を爲しつゝあるが、その内で、専門とする同翅目の詳細なる調査を行ひ、その第一報を「昆蟲」\*第五卷第五號に發表した。今回はその後の送附に關するものゝ内、新たな數種を記録するものである。

## せみ科 CICADIDAE

ナカモトチツチゼミ *Leptopsylla admirabilis* Kato

產地 奉天(一九三一・九)、火蓮寨(一九三一・七)但し蟬蛻。

本種は最初朝鮮から記録したもので、同地には普通に産するものであるが滿洲では稀であるらしい。火蓮寨産のものは蟬蛻だけである。

## つせみ科 MEMBRACIDAE

スサゲンマルツノヨシ *Gargara swigensis* Kato (Fig. 2)

產地 安東(一九三一・八・四)

本種は最初朝鮮水原産の不完全な雄標本に依て記載したのであるが、本個體は完全な雌であるから、左の如く記

\*(1932) pp. 216-229, with pl. VIII.

\*\*動物學雜誌 XLII (502), pp. 299, 303, pl. III, fig. 5(1930)

載を補足して置く。

一、頭部及び前胸背に金色の短毛を装ふ。

二、後部突起は頗る尖鋭にして末端前翅の内縁角に達す。その幅狭く、中央の隆起線は双状を爲し、その兩側に一本の細き隆起線を具へ、是等は後端に於て相合す。

體長四、五耗、體幅二耗、

モジツノゼミ *Tricentrus moyjensis* Matsumura (Fig.1)

產地 安東(一九三二・六・二六)

本種は北海道、本州、九州、朝鮮、臺灣等の山地に産するも稀である。

### とげあはさき科 MACHAEROTIDAE

アリサントゲアハフキ *Taliorina geisha* Schumacher (Fig.3)

產地 安東(一九三二・七・三)

本種は臺灣中部の山地から知られた珍種であるが、滿洲から發見されたことは極めて興味深い。

### あはさきむし科 APHROPHORIDAE

チビアハフキ (新稱) *Pygellus pallidus* Melichar (Fig.4)

產地 安東(一九三二・八・一一)

本種は臺灣、南支那、馬來、印度等に廣く分布する昆蟲であるが、日本内地からは未だ發見されない。滿洲産のものは臺灣のものよりも幾分小形で前翅端が少しく圓味を持て居る。

アツアヒフキ *Aphrophora flavipes* Uhler

產地 安東（一九三二・九・一）

本州、四國、九州等に分布する種類であつて、滿洲からは泊尙義氏が *Insects of Kwantung Province*, p. 11 (1930) に關  
東州所産のものを記録されて居る。

*Aphrophora* sp.

產地 安東（一九三二・六・二二）

本種はマヘキアハフキ *A. costalis* Matsumura に近いものであるが標本が少しく不完全であるから、記載を後日に譲る。

モンキソアハフキ（新稱） *Philaenus scutellatus* sp. nov. (Fig. 5)

產地 安東（♀♂一九三二・六・二六）

♂ 體は暗褐色、銀灰色の微毛を装ふ。ビロード様の光澤あり。

頭頂は平たく、前縁は拋物線狀に突出し、複眼の外縁はその線に一致す。單眼は淡紅色、複眼の前縁を連ぬる直線よりも微  
か後方に位し、單眼間の幅は複眼の前縁よりそれに隣れる單眼に至る距離と相等し。頭頂板は稍々直角三角形にして、頭頂の  
三分の二強を占む。

前胸背は頭頂の略々二倍の長さを有し、前縁は約一二〇度の角度を以て前方に突出す。前縁に並行して六個の小凹陷あり、  
中央の一對は微小にしてその部分は縦に凹陷す。側角は銳角、兩側角を連ぬる線を境としてその前方は灰褐色を呈し、凹點は  
暗褐色を呈す。

稜狀部灰白色、後端は鋭く尖り、その部分は暗褐色を呈す、前翅端に近く灰白色不規則なる一紋を裝ひ、その内側の部分の  
地色は濃色なり。

體下は暗褐色、額は著しく大形に膨起し、一様に汚黃色、中央は淺く縦に凹陷し、その兩側に並行せる約十條の細き横溝あ  
り。後脛節外側の一棘は顯著なり。

體長 七耗、體幅二・三耗

Type No. 202

♀ 雄よりも淡色にして稍大なり。

### おほよっばい科 OCADELLIDAE

マヘシロオホヨコバイ *Isidiella albomarginata* Signoret

産地 安東 (一九三二・五・二六)

満洲からは記録されて居ないが日本全土、シベリア、中部支那、マレイ、オーストラリア等に亘つて分布して居る。菊池氏採集の標本は前胸背の全部黒色、稜状部の黄緑紋も甚だ小形であるが、これは個體的の變異と見るべきであらう。

### よっばい科 JASSIDAE

ヒシメントガリヨコバイ (新種) *Platymetopius dorsivittatus* sp. nov. (Fig. 9)

産地 安東 (一九三二・八・一二)

♂ 體は淡黄色、幾分綠色を帶ぶ。頭部は三角形に突出し、その長さは複眼間の幅に略々等し。頭頂の中央は稍々三角形に暗色を呈し、中央に濃色の細き一縦條を具へ、その前端は二又してY字形を形成す。複眼は大部分暗灰色を呈すれども後半は汚黄色なり。

前胸背は頭頂とその長さ略々等しく、砂目状に暗褐を呈するも、兩側縁並に中央の縦紋は淡黄色なり。稜状部は前胸背同様の色彩を有すれども、中央は淡黄色なり。

前翅は幾分半透明に近く、後縁は幅廣く暗褐色を呈し、此の部分は中央部に於て三角形に突出す。體下は一樣に淡黄綠色、額は平たく頬片は甚だ大なり。

體長 四・七耗

Type No. 203.

マダラヨコバイ *Deltocylatus strictus* Linnaeus

産地 安東 (一九三二・八・二九)

本種は北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、アムール、シベリア、ヨーロッパ、北アメリカ等から記録されてゐるが、満洲からは泊氏に依て記録された。

フタテンヨコバイ *Cicadula fascifrons* Stål

產地 安東(一九三二・七・三〇)

本種が満洲に産することは松村氏昆蟲大圖鑑に記されてあるが、満洲以外では日本全國、支那、アムール、シベリア、北アメリカ等に分布して居る。

マンシウトビヨコバイ (新稱) *Goniognathus castaneus* sp. nov. (Fig. 8)

產地 安東(一九三二・八・一一)

赤褐色滑澤なる幅廣き大形のヨコバイなり。

頭部の前縁は弧狀に突出し、頭長は複眼間の幅の約二分の一、複眼は暗色、頭頂は幾分横長く凹陷し暗褐色の小點を砂目狀に散在す。

前胸背は頭長の約一倍半の長さを有し、後半部に暗褐色の横皺を具へ、一樣に黄白色の小點を粗く散布す。

稜狀部は前胸背の長さの約半ばに等しく、到二等邊直角三角形を呈すれども、頂角は更に延長して棘狀を爲す。色彩前胸背に等しきも兩側角に近く不明瞭なる暗色の一紋を裝ふ。

前翅には一樣に黒褐色の砂目狀紋を裝ひ、翅脈は著しく隆起して黒褐色、外片に於ては灰白點に依りて點線狀に區切られ、その兩側は灰白色を呈すれども、内片上の脈(臀脈)は灰白部を缺き、地色を以て區切らるゝ爲顯著ならず。

體下は暗褐色部の範圍廣し。額は平たく、微細なる點刻及び黒褐色の幅廣き約八本の不規則なる横帯を裝ふ、これは中央附近に於て互に接合す。頬は外縁を細く(黄褐色)殘して黒褐色、額片並に頬片は赤褐色にして暗色紋を裝ふ。

腹部には暗色の小點を密に裝ふ爲殆ど暗色に見ゆ。肢は赤褐色、前腿節に暗色紋あり、後脛節の棘は長くして末端暗色を呈す體長六耗。

Type No. 206.

本種は臺灣に普通のタイワントビヨコバイ *G. formosanus* Matsumura に酷似するも體色が著しく濃色なること、前翅に砂目状の黒褐點を裝ふ等の相違に依て區別することが出来る。

クサビヨコバイ *Attagymopsis salicis* Matsumura

產地 安東 (一九三二・八・一四)

松村氏昆蟲大圖鑑には、地方的の昆蟲にして、何れの地方にも産するにあらず。本州 (播州) とあるも、滿洲に産する以上は朝鮮にも分布して居ること考へられる。

### ひらたよこばい科 GYPONIDAE

マンシウサジヨコバイ (稱新) *Paraboloerctus lineatus* sp. nov. (Fig. 10)

產地 安東 (一九三二・八・一四)

♀ 體は綠色、頭頂は拋物線狀に前方に突出し、その長さは複眼間の幅の約三分の二に等し。複眼は暗色、頭部の前縁は細く黑色、頭頂に淡黃褐色を呈する四條の縦紋を裝ふ、これは前縁に達せずして消失す。

前胸背は頭頂よりも僅かに短かく、頭頂同様の色彩を有する四縦條を裝ふ。稜状部は大形にして前胸背と略等長、中央に前者同様の色彩を有する一本の縦條を裝ふ。

前翅は殆ど半透明に近く、翅脈は明瞭なり。一樣に淡綠色にして斑紋無し。體下は一樣に綠色なり。

本種は \*ミツボシサジヨコバイ *P. trigtutidas* Matsumura に近似の種なれども前翅に斑紋を缺くを以て區別す。

體長 八・七耗

Type No. 204

シロテンサジヨコバイ (新稱) *Aeocophidus alboguttatus* sp. nov. (Fig. 7)

產地 安東 (一九三二・六・二六)

♀ 頭部は拋物線狀に前方に突出し、その長さは複眼間の幅の約四分の三、頭頂に小形を呈する隆起線あり、複眼は暗褐色。頭頂は黒褐色を呈し、後縁の四紋、中央のV字形紋、並に前縁に散在する四紋等は黄褐色を呈す。

前胸背は頭頂よりも少しく短かく、前半部は暗褐色、後半部は灰白色を呈す。稜状部は一樣に暗褐色なり。

前翅は暗色、前縁は稍々濃色、全長の略々三等分點に各一列宛の灰白紋列を裝ふ。翅底に近きものは二個の斑紋より成り、前縁のものは大、内片に存する一紋は小形なり。翅端に近きものは四個より成り、稍々弧狀に内方に變曲して配置さる。翅端附近には不規則なる小灰白紋を散在す。

顔面は淡き褐色、胸、腹兩部は黒褐色、前肢は黒褐色、中、後兩肢は淡き褐色、但し兩者共背面より見る時は黒褐色を呈す。

體長 五耗

Type No. 205

スキバブチミヤクヨコバイ (新稱) *Dryoboscus conspicuus* Distant (Fig. 11)

產地 火連寨 (一九三二・七・一三)

本種はセイロンからのみ知られたヨコバイであるが、私は臺灣 (臺北、一九二九・六・二六) で一頭を獲た。臺灣、滿洲兩地より未記録種として紹介して置く。

大體に於て内地産のブチミヤクヨコバイ *D. nigrifemoralis* Matsumura に似て居るが、少しく小型で前翅は殆ど透明に近。

## ひゃんごうばい科 BYTHOSCOPIDAE

ヨツテンツキンヨコバイ (新稱) *Idiocerus quadrinotatus* sp. nov. (Fig. 6)

產地 安東 (一九三二・七・一七)

♀ 頭頂は灰黄白色、複眼は暗褐色、複眼に接して二個の小黒點を横列す。前胸背は暗色、中央に太きI字型青灰色の一紋を具ふ。その兩側に同色の一紋あれども不明瞭なり。稜狀部は前胸背と殆ど等長、側角に接近する倒三角形の一紋、中央に横列する二點等は黒色。

前翅は多少紅白色を帯び、殆ど透明、翅脈は白色と黒褐色に交互に彩らる。

顔は蒼灰白色、額は幾分青味強し。胸下は藁色、腹部は暗色。肢は一樣に藁色なれども跗節は褐色を帯ぶ。

體長 四・五耗。

Type No. 207

## ひめぢがら科 TYPHLOCYBIDAE

イナヅマヒメヨロバイ (新稱) *Zygina inazumai* sp. nov. (Fig. 12)

産地 安東 (一九三二・八・一)

♀ 淡黄白色。頭長は複眼間の幅の約三分の二、前胸背の長さの三分の二に等しく、複眼は暗色、頭頂に稍大なる二個の黒色圓紋を横列す。前胸背には全く斑紋を缺くも、直下に存する中胸背の大なる三角紋を透視し得べし。稜狀部は前胸背と略々等長、後端は略々七六度の角度に尖り、兩側角に近く不等邊直角三角形の一紋を具ふ、その斜邊は側縁に平行し最短邊は前背の後縁に一致す。又後端に接近して同色の短かき横線を有する爲、一見U字形の斑紋を有する如き觀あり。

前翅は幾分半透明に近く、翅脈は黄白色、圖の如き雷光形の暗色紋を裝ふ、これは翅を閉づる時中央に大なる菱形の一紋を現はす。

體下並に肢は一樣に淡黄白色なり。

體長 三耗。

Type No. 209

ミドリヒメヨコバイ(變種) *Chlorita flavescens* Fabricius var. *punctata* nov.

產地 安東(一九三二・七・二九)

原種と異なる處は前翅端に近く暗褐色の小點を有することである。これは一見臺灣に産するフタテンミドリヒメヨコバイ *Ch. biguttula* Shiraki に酷似した處もあるが、頭部の形狀に依り *Ch. flavescens* の變種とした。猶原種は殆ど全世界に分布して居る。

Type No. 208

## ぐんばいごんか科 TROPIDUCHIDAE

シネロウソウカ *Ommatissus binotatus* Fieber

產地 安東(一九三二・九・一)

本州、九州、臺灣、支那、インド、アフリカ、ヨーロッパ等に分布する記録がある。滿洲からは未記録である。

## あしごんごんか科 LOPHOPIDAE

Genus *MANCHOOKHONIA* nov.

Head distinctly narrower than thorax; antenna very long and stout, about twice as long as thorax, basal segment very long, about three times as long as apical segment. Frons much longer than broad, about 2.5 times as long as broad, with two central longitudinal carination; clypeus non-carinate, about  $4/5$  as long as frons. Proboscis short, slightly passing intermediate coxae.

Vertex of head slightly longer than base, lateral and posterior margins prominently reflexed; pronotum as long as vertex, tricarinate, lateral carinae converging anteriorly; scutellum about 2.5 times as long as pronotum, with two longitudinal anteriorly converged carinate.

Tegmina coriaceous, shorter than abdomen, veins granulated; wings degenerated. Anterior and intermediate femora and tibiae lobately expanded.

Distribution Manchuria

Genotype *Manchooklonia granulipennis* sp. nov.

イボアシブトウシカ (新種) *Manchooklonia granulipennis* sp. nov. (Fig. 13)

産地 安東(一九三二・六・四)

♀ 體は一樣に暗褐色、點刻及び灰白色にして絹様光澤ある短毛を裝ふ。觸角は極めて長く、全長胸部の二倍に等しく、末節は柄節の三倍あり。前胸背に三本、稜狀部に二本の縦隆起線を具ふ、是等は何れも前方に狭ばまれり。前翅は革質にして厚く、翅底及び翅端(何れも全長の約四分の一)は灰白色を呈す。翅脈は明瞭に隆起し、暗褐色の疣狀小突起を密に裝ふ。

體下及び肢は一樣に黒褐色、口吻(末端を除く)、各基節、前、中兩肢の脛節の末端等は汚黄色を呈す。

體長 五耗

Type No. 210

## くひんはじんも科 RICHNIIDAE

ヒメハッコウシゴロモ *Bicania taeniata* Stål

産地 安東(一九三二・八・一二)

本種は本州に稀に発見されるが臺灣では餘り稀でない。國外ではインド、マレイ群島、フィリッピン諸島等に分布して居る。然し滿洲からは未記録である。

うんか科 DELPHACIDAE

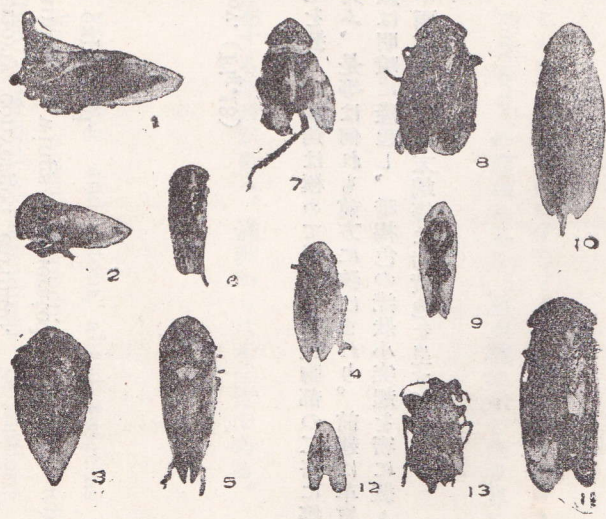
ホソミドリウンカ *Saecharocytine procerus* Matsumura

産地 安東 (a一九三二・六・二三、b同 七・二九)

bの前翅端は細く黒色に縁取られて居る。此のウンカは本州、九州、朝鮮から記録されて居るが、著者は臺灣嘉義で多數を獲たから此の機會に滿洲臺灣の兩地から記録して置く。

圖 解

- |   |             |    |              |
|---|-------------|----|--------------|
| 1 | モジツノゼミ      | 8  | マンシウトビヨコバイ   |
| 2 | スキゲンマルツノゼミ  | 9  | ビシモントガリヨコバイ  |
| 3 | アリサントゲアハフキ  | 10 | マンシウサジヨコバイ   |
| 4 | チビアハフキ      | 11 | スキバブチミヤクヨコバイ |
| 5 | モンキホソアハフキ   | 12 | イナヅマヒメヨコバイ   |
| 6 | ヨツテンツキンヨコバイ | 13 | イボアシブトウンカ    |
| 7 | シロテンサジヨコバイ  |    |              |



滿洲國産同翅目の新種並に未記録種